

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立庄原小学校	校長	西田 早苗	生徒指導主事	住田 里美
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『いいところ見つけて、レジリエンスアップ』

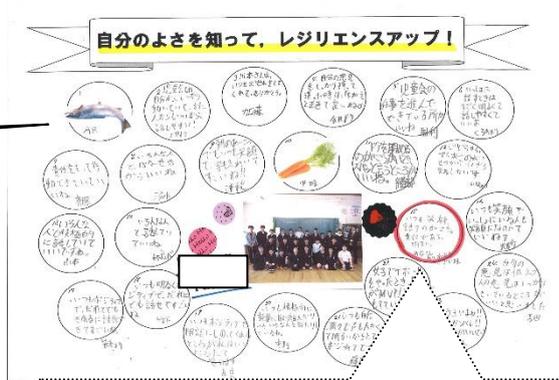
取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「他者理解」	3	「自己有用感」	2	「回復力・自らの自信」	1

取組のねらい

- ・自分では気付かなかった自分のよさを感じることで、回復力（レジリエンス）や自己有用感を高める。
- ・一人一人のよさや頑張りを伝えることで、お互いに認め合える学級集団を育成する。

取組の具体的内容 【学級活動・本時の流れ】	取組の創意工夫 『つなぐ』
---------------------------------	-------------------------

<p>1 回復力とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復力（レジリエンス）について確認する。 <p>『特別の教科 道徳』の学びとつなぐ 『個性の伸長』に関わる項目と関連付けた取組をする。</p> <p>2 学級の友達のよさは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レジリエンスアップカード」に友達のよいところや頑張りを書く。 <p>3 自分のよさを感じよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の友達が書いてくれた自分のよさや頑張りを読み、自分の強みや自分では気付かなかった自分のよさを知る。 <p>4 自分のよさは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて自分のよさを書く。 <p>『学級の児童全員のよさをつなぐ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童のコメント欄へは、その児童が好きなものを貼る。また、書くことが困難な児童もその児童が好きなものを貼り、名前を書かせる。 <p>5 活動を振り返って</p> <p>(児童の振り返りより)</p> <p>○みんながたくさん書いてくれた僕のよさは「おもしろい」でした。最初見た時はそれしかないのかと思ったけれど、それは僕の強みだと思いました。これからはみんなを笑顔にしていきたいです。(6年)</p> <p>○私は、みんなから「思いやりがある」と思われていてびっくりしました。これからは、もっと周りの人にやさしくしたいです。(4年)</p> <p>○いいところをいっぱい書いてもらってうれしかったです。友達のいいところをもっといっぱい見つけたいです。(2年)</p>	<p>『日常生活の中の課題を学級活動につなぐ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童実態から学級活動の内容を考える。 ・注意を受けたら「どうせ…」「自分ばかり…」 ・自分にはいいところがない。 ・友達との関係が気になる。 ・できないと思うことにはチャレンジしたくない。 <p>『ゲーム感覚でよさ見つけをつなぐ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1分間で友達のよさや頑張りを書く。 ・リレー形式でカードを回していく。 ・書く内容は声に出さない。(どんなことが書いてあるのかな？ワクワク感) <p>自分のよさを知って、レジリエンスアップ!</p>  <p>(6年児童が書いた自分のいいところ)</p> <p>いつも笑顔。話すのが上手。明るい。責任感がある。 みんなありがとう!</p> <p>『保護者と児童のよさをつなぐ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談の際に保護者にもカードを見せる。
---	--

取組の成果と課題

○全職員でレジリエンスについて研修した後、2年生から6年生まで担任と連携し同じ活動を仕組むことができた。

○懇談の際に保護者へ作成したカードを配付したことで、家庭においても育てたい資質・能力について考えてもらうきっかけになった。

- ・周りの友達から評価されることは自信につながる。
- ・子供の学校での様子が伝わってきた。家でも、このカードに書かれていることについて話してみたい。
- ・親としても子供のいいところを見ていきたい。

▲自己肯定感アンケートの数値の変化があまり見られなかった。(自己肯定感アンケートは7項目あり、4段階で回答) レジリエンスを高めるための取組を継続して行っていく必要がある。

主な項目	7月	12月
自分にはいい所がある	3. 4 4	3. 4 9
みんなと同じくらい大切な人間だと思う	3. 3 4	3. 3 2
みんなの役に立っている	3. 1 0	3. 0 9